



2021年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年1月11日

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3377 URL https://www.8190.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)石川秋彦
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 管理部門担当 (氏名)竹内和也 (TEL) 03-6803-8855
 定時株主総会開催予定日 2022年2月25日 配当支払開始予定日 2022年2月28日
 有価証券報告書提出予定日 2022年2月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期の業績(2020年12月1日~2021年11月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期	26,570	18.9	1,558	120.3	1,770	105.9	1,226	106.3
2020年11月期	22,349	11.1	707	235.8	859	139.0	594	188.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年11月期	87.80	-	23.9	20.9	5.9
2020年11月期	42.55	-	13.8	12.4	3.2

(参考) 持分法投資損益 2021年11月期 84百万円 2020年11月期 102百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年11月期	9,248	5,660	61.2	405.31
2020年11月期	7,655	4,580	59.8	328.01

(参考) 自己資本 2021年11月期 5,660百万円 2020年11月期 4,580百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年11月期	△583	△437	284	944
2020年11月期	1,071	△600	△95	1,680

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年11月期	-	2.50	-	5.00	7.50	104	17.6	2.4
2021年11月期	-	5.50	-	10.00	15.50	216	17.7	4.2
2022年11月期 (予想)	-	10.00	-	10.00	20.00		21.5	

3. 2022年11月期の業績予想(2021年12月1日~2022年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	4.9	900	5.5	980	4.3	650	4.6	46.54
通期	27,500	3.5	1,750	12.3	1,950	10.2	1,300	6.0	93.09

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期	15,315,600 株	2020年11月期	15,315,600 株
② 期末自己株式数	2021年11月期	1,350,027 株	2020年11月期	1,350,000 株
③ 期中平均株式数	2021年11月期	13,965,598 株	2020年11月期	13,965,600 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当事業年度末現在において当社が判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展、新規感染者数の大幅減少により、輸出や設備投資の回復が鮮明化し、個人消費においても持ち直しの動きが見られ、経済社会活動が正常化に向かっております。しかしながら、新型コロナウイルスの新たな変異株の登場により収束時期については見通しが立っておらず、依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

当社が属するバイク業界におきましては、二輪免許新規取得者数が増加する等の環境変化が起きており、新車、中古車ともに需要は高まってきております。この背景には、近年のアウトドアブームに加えて、コロナ禍による人々の行動の変化としてリターンライダーや新規ライダーの増加に表れるバイク志向の高まりがあるものとみられています。

国内におけるバイクの保有台数は約1,034万台（前年比1.8%減）と前年を下回るものの、当社の主力仕入とする高市場価値車種である原付二種以上は約549万台（前年比1.1%増）と前年を上回っております*¹。また、新車販売台数も同様に約33万台（前年比0.9%減）と前年を下回るものの、高市場価値車種は約21万台（前年比3.4%増）と前年を上回っております*²。

※1. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2020年3月末現在)

※2. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2020年実績)

このような市場環境のもとで、当社は、ビジョンとして掲げる「バイクライフの生涯パートナー」の実現に向けて、従来のバイク買取専門店としての「バイクを売るならバイク王」から、バイクに係る全てのサービスを総合的に提供する「バイクのことならバイク王」と言われるブランドへ進化を目指しております。そして、一人ひとりのお客様満足度のさらなる充実とともに長期にわたって多くのお客様に支持していただける企業になること、さらに、お客様とともにより豊かなバイクライフを創り上げていく企業となることを実現したいと考えております。

当事業年度では、従来から進めてきた複合店（買取およびリテールを展開する店舗）における仕入れおよび販売力の強化をさらに推進し、より一層お客様満足度を高めるとともに、経営基盤の強化に努めてまいりました。

上記を踏まえ、バイクの仕入においては、効果的な広告展開、人員や体制の強化、仕入れキャンペーン等の実施により、高市場価値車種の確保が継続できました。

リテールにおいては、マーチャンダイジング施策として商品ラインアップの適正化、店舗の新規出店（2店舗）、移転・増床（5店舗）、接客力向上、売り場改善による既存店の販売力強化および通信販売の強化を推進いたしました。また、優良な在庫を確保し続けたことにより高市場価値車種の比率が上昇し、堅調なリテール市場の需要にも支えられ好調を維持しました。さらに、車種とその用品・部品を取り扱うECサイトの運営を担う、子会社・バイク王ダイレクトを設立し、お客様との接点拡大を図りました。ホールセールにおいても同様に、高市場価値車種の比率が上昇したことに加え、販売価格水準を維持するよう販売方法の工夫に努めました。

これらの取り組みによって、販売台数は、リテールでは前期より増加いたしました。リテールへ商品在庫を確保し続けたことにより、ホールセールでは前期より減少して、全体としては前期よりやや減少する結果となりました。一方、車種売上単価（一台当たりの売上高）が前期より大幅に上昇したため、売上高は増収となりました。加えて、平均粗利額（一台当たりの粗利額）が前期より大幅に上昇したため、売上総利益も増益となりました。

営業利益以降の各段階利益につきましては、リテール、ホールセールいずれも好調であったため前期より大幅な増益となりました。

以上の結果、売上高26,570,000千円（前期比18.9%増）、営業利益1,558,930千円（前期比120.3%増）、経常利益1,770,170千円（前期比105.9%増）、当期純利益1,226,182千円（前期比106.3%増）となり、売上高、当期純利益は過去最高を更新いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ1,551,732千円増加し、6,752,175千円となりました。これは主に、商品2,252,545千円、売掛金107,945千円が増加し、現金及び預金736,603千円、未収入金33,879千円、前払費用22,094千円が減少したためであります。

(固定資産)

固定資産は、前事業年度末に比べて41,668千円増加し、2,496,800千円となりました。これは、リース資産の増加等により「有形固定資産」が82,498千円、繰延税金資産の増加等により「投資その他の資産」が73,629千円増加し、ソフトウェア償却費の計上等により「無形固定資産」が114,459千円減少したためであります。

(流動負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ450,377千円増加し、3,054,389千円となりました。これは主に、短期借入金500,000千円、未払法人税等136,904千円、前受金113,976千円が増加し、未払消費税等198,439千円、未払金137,896千円が減少したためであります。

(固定負債)

固定負債は、前事業年度末に比べ63,390千円増加し、534,161千円となりました。これは、長期リース債務が95,683千円、資産除去債務が20,911千円増加し、長期未払金の減少等により「その他」が53,204千円減少したためであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて1,079,632千円増加し、5,660,425千円となりました。これは主に、当期純利益1,226,182千円の計上と株主配当による利益剰余金の減少146,638千円があったためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前事業年度末に比べ、736,603千円減少し、944,217千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は583,637千円となりました。これは主に、たな卸資産の増加2,265,434千円、法人税等の支払額424,629千円、売上債権の増加116,548千円により資金が減少し、税引前当期純利益1,736,214千円、減価償却費421,288千円、減損損失の計上30,127千円により資金が増加したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は437,318千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出230,543千円、無形固定資産の取得による支出153,615千円、敷金及び保証金の差入による支出45,406千円により資金が減少し、関係会社株式の売却による収入25,258千円により資金が増加したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は284,352千円となりました。これは主に、短期借入による収入500,000千円により資金が増加し、配当金の支払額146,075千円、リース債務の返済による支出69,540千円により資金が減少したためであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年11月期	2018年11月期	2019年11月期	2020年11月期	2021年11月期
自己資本比率 (%)	71.7	70.3	65.5	59.8	61.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	56.5	44.8	43.2	59.7	151.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	14.0	0.5	0.5	0.1	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	3.5	91.2	72.3	377.2	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. いずれも単体の財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
5. 2021年11月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため表示しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展、新規感染者数の減少により、経済社会活動が正常化に向かう一方で、変異株の登場で収束時期については見通しが立っておらず、依然として先行き不透明な状況が続くと考えられます。

バイク事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は無視できないものの、オークション相場およびリテール市場は堅調に推移しております。今後もバイクは交通インフラを支え、密閉・密集・密接の「3密」を避ける移動手段であり続けることや、コロナ禍によって変化したバイク志向の高まりによる堅調な需要は続くものと予測されます。

このような状況のもと、当社は持続的な成長に向けて新たにコーポレートミッションとして「まだ世界にない、感動をつくる。」を掲げ、ビジョンである「バイクライフの生涯パートナー」の実現に向けて、2022年11月期から2024年11月期までの中期経営計画を策定いたしました。

本計画では、売上高315億円達成のため戦略の三本の柱となるCRM推進、整備インフラ、システムプラットフォームを軸として、設備投資、人的投資、IT投資を推進いたします。そして、営業戦略、オペレーション戦略、情報戦略、人事戦略、財務戦略によって一層の企業価値の向上と事業規模の拡大に取り組んでまいります。

なお、詳細は、2022年1月11日付で公表いたしました「中期経営計画策定に関するお知らせ」をご参照ください。

以上の結果、中期経営計画1年目となる翌事業年度(2022年11月期)の業績予想につきましては、売上高27,500百万円(当期比3.5%増)、営業利益1,750百万円(当期比12.3%増)、経常利益1,950百万円(当期比10.2%増)、当期純利益1,300百万円(当期比6.0%増)としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当事業年度 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,680,820	944,217
売掛金	83,553	191,499
商品	3,179,233	5,431,779
貯蔵品	12,291	7,304
前渡金	18,275	11,570
前払費用	123,056	100,962
未収入金	56,298	22,418
その他	54,546	50,066
貸倒引当金	△7,632	△7,642
流動資産合計	5,200,443	6,752,175
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,138,037	1,222,770
減価償却累計額	△699,041	△754,170
建物(純額)	438,996	468,599
構築物	88,790	91,021
減価償却累計額	△65,591	△69,489
構築物(純額)	23,198	21,531
車両運搬具	399,476	378,447
減価償却累計額	△307,459	△324,516
車両運搬具(純額)	92,017	53,931
工具、器具及び備品	324,941	357,018
減価償却累計額	△256,061	△291,096
工具、器具及び備品(純額)	68,879	65,922
リース資産	331,262	431,174
減価償却累計額	△183,537	△187,843
リース資産(純額)	147,724	243,331
有形固定資産合計	770,817	853,316
無形固定資産		
商標権	2,513	1,788
ソフトウェア	57,088	700,781
電話加入権	7,631	7,631
ソフトウェア仮勘定	757,428	-
無形固定資産合計	824,661	710,201

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当事業年度 (2021年11月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	487	661
関係会社株式	276,270	257,236
出資金	290	290
長期貸付金	26,729	27,959
従業員に対する長期貸付金	-	2,880
長期前払費用	2,597	6,227
敷金及び保証金	378,343	407,973
繰延税金資産	178,925	224,521
その他	12,366	26,556
貸倒引当金	△16,357	△19,150
関係会社投資損失引当金	-	△1,873
投資その他の資産合計	859,653	933,282
固定資産合計	2,455,132	2,496,800
資産合計	7,655,575	9,248,976

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当事業年度 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,607	277,017
短期借入金	100,000	600,000
リース債務	56,407	72,406
未払金	671,436	533,540
未払費用	184,914	206,548
未払法人税等	289,600	426,504
未払消費税等	199,152	712
前受金	591,086	705,062
預り金	21,945	23,519
前受収益	10,639	5,271
賞与引当金	217,456	197,220
店舗閉鎖損失引当金	1,134	-
商品保証引当金	3,039	4,867
資産除去債務	2,428	1,255
その他	1,162	462
流動負債合計	2,604,011	3,054,389
固定負債		
リース債務	102,995	198,679
資産除去債務	212,810	233,722
その他	154,963	101,759
固定負債合計	470,770	534,161
負債合計	3,074,782	3,588,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	590,254	590,254
資本剰余金		
資本準備金	609,877	609,877
資本剰余金合計	609,877	609,877
利益剰余金		
利益準備金	13,250	13,250
その他利益剰余金		
別途積立金	1,230,000	1,230,000
繰越利益剰余金	2,493,495	3,573,039
利益剰余金合計	3,736,745	4,816,289
自己株式	△356,229	△356,261
株主資本合計	4,580,648	5,660,160
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	144	265
評価・換算差額等合計	144	265
純資産合計	4,580,793	5,660,425
負債純資産合計	7,655,575	9,248,976

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当事業年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
売上高	22,349,284	26,570,000
売上原価		
商品売上原価		
商品期首たな卸高	2,434,678	3,179,233
当期商品仕入高	11,687,495	15,482,312
商品保証引当金繰入額	477	1,827
合計	14,122,651	18,663,374
商品期末たな卸高	3,179,233	5,431,779
商品売上原価	10,943,418	13,231,595
流通整備原価	1,238,691	1,385,571
売上原価合計	12,182,109	14,617,166
売上総利益	10,167,174	11,952,833
販売費及び一般管理費	9,459,568	10,393,903
営業利益	707,606	1,558,930
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	30,527	30,493
クレジット手数料収入	105,819	155,440
受取賃貸料	8,616	8,616
為替差益	-	1,069
その他	17,545	18,882
営業外収益合計	162,508	214,502
営業外費用		
支払利息	2,840	3,017
貸倒引当金繰入額	5,761	-
為替差損	1,393	-
その他	224	244
営業外費用合計	10,220	3,261
経常利益	859,894	1,770,170
特別利益		
固定資産売却益	293	397
関係会社株式売却益	-	14,148
特別利益合計	293	14,545
特別損失		
固定資産売却損	89	-
固定資産除却損	1,179	395
減損損失	46,584	30,127
貸倒引当金繰入額	3,339	2,792
関係会社投資損失引当金繰入額	-	1,873
関係会社株式評価損	3,878	13,313
特別損失合計	55,071	48,502
税引前当期純利益	805,116	1,736,214
法人税、住民税及び事業税	333,158	555,680
法人税等調整額	△122,325	△45,649
法人税等合計	210,833	510,031
当期純利益	594,283	1,226,182

流通製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)		当事業年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		647,675	52.3	746,995	53.9
II 経費	(注) 2	591,016	47.7	638,576	46.1
流通整備原価		1,238,691	100.0	1,385,571	100.0

(注) 1 流通整備原価は、各事業年度の発生費用の総額を費目別、部門別に集計し所定の基準により按分して、売上原価に区分計上したものであります。

2 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当事業年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
車両配送費	401,860 千円	442,609 千円
地代家賃	129,143	131,943
減価償却費	46,210	48,395

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	590,254	609,877	609,877	13,250	1,230,000	1,962,057	3,205,307
当期変動額							
剰余金の配当						△62,845	△62,845
当期純利益						594,283	594,283
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	531,438	531,438
当期末残高	590,254	609,877	609,877	13,250	1,230,000	2,493,495	3,736,745

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△356,229	4,049,210	108	108	4,049,318
当期変動額					
剰余金の配当		△62,845			△62,845
当期純利益		594,283			594,283
自己株式の取得					
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			35	35	35
当期変動額合計	—	531,438	35	35	531,474
当期末残高	△356,229	4,580,648	144	144	4,580,793

当事業年度(自2020年12月1日 至2021年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	別途積立金	
当期首残高	590,254	609,877	609,877	13,250	1,230,000	2,493,495	3,736,745
当期変動額							
剰余金の配当						△146,638	△146,638
当期純利益						1,226,182	1,226,182
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,079,543	1,079,543
当期末残高	590,254	609,877	609,877	13,250	1,230,000	3,573,039	4,816,289

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△356,229	4,580,648	144	144	4,580,793
当期変動額					
剰余金の配当		△146,638			△146,638
当期純利益		1,226,182			1,226,182
自己株式の取得	△32	△32			△32
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			120	120	120
当期変動額合計	△32	1,079,511	120	120	1,079,632
当期末残高	△356,261	5,660,160	265	265	5,660,425

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当事業年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	805,116	1,736,214
減価償却費	281,481	421,288
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,972	2,802
賞与引当金の増減額 (△は減少)	116,103	△20,235
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	-	1,873
受取利息及び受取配当金	△30,527	△30,493
支払利息	2,840	3,017
為替差損益 (△は益)	697	△1,230
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△14,148
関係会社株式評価損	3,878	13,313
固定資産除却損	1,179	395
固定資産売却損益 (△は益)	△204	△397
減損損失	46,584	30,127
売上債権の増減額 (△は増加)	93,888	△116,548
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△764,869	△2,265,434
仕入債務の増減額 (△は減少)	52,404	23,410
未払金の増減額 (△は減少)	192,755	△115,843
その他	411,545	145,633
小計	1,223,846	△186,255
利息及び配当金の受取額	24,456	30,430
利息の支払額	△2,837	△3,182
法人税等の支払額	△174,126	△424,629
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,071,338	△583,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△266,051	△230,543
無形固定資産の取得による支出	△275,203	△153,615
関係会社株式の取得による支出	△16,706	△10,000
関係会社株式の売却による収入	-	25,258
敷金及び保証金の差入による支出	△36,048	△45,406
敷金及び保証金の回収による収入	9,003	16,801
建設協力金の支払による支出	-	△15,000
その他	△15,348	△24,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,355	△437,318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	500,000
セールアンドリースバックによる収入	23,463	-
リース債務の返済による支出	△56,307	△69,540
配当金の支払額	△62,682	△146,075
その他	-	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95,526	284,352
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	375,456	△736,603
現金及び現金同等物の期首残高	1,305,364	1,680,820
現金及び現金同等物の期末残高	1,680,820	944,217

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は単一のセグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

	前事業年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当事業年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
関連会社に対する投資の金額	251,520千円	235,800千円
持分法を適用した場合の投資の金額	544,847	583,709
持分法を適用した場合の投資利益の金額	102,637	84,759

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)		当事業年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)	
1株当たり純資産額	328.01円	1株当たり純資産額	405.31円
1株当たり当期純利益	42.55円	1株当たり当期純利益	87.80円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年12月1日 至 2020年11月30日)	当事業年度 (自 2020年12月1日 至 2021年11月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	594,283	1,226,182
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	594,283	1,226,182
期中平均株式数(株)	13,965,600	13,965,598

(重要な後発事象)

該当事項はありません。